

**令和6年度**  
**関西医科大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム**  
**(リテラシーレベル)**  
**自己点検評価報告書**

令和6年度に関西医科大学において実施した「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」について、自己点検評価を次のとおり実施したので報告する。

**1. 教育プログラムを構成する授業科目**

学部名	学年	科目名
医学部	1 学年	理工学からみた医療・医学 P1
		理工学からみた医療・医学 A1
		IT からみた医療・医学 A1
	3 学年	理工学からみた医療・医学 B3
看護学部	4 学年	臨床実習入門 P4b
	1 学年	情報活用論
リハビリテーション学部	2 学年	情報処理技術
		保健統計学
	1 学年	情報処理技術
リハビリテーション学部	3 学年	統計学
		リハビリテーション工学演習
		アシスティブテクノロジー学

**2. 学内からの視点に関する評価**

(1) 履修・修得の状況

教育プログラムを構成する授業科目は、すべて必修科目であり、履修率は 100%となる。修得率は、科目試験や進級判定等の結果、次のとおりとなった。上記「1」に示すとおり、医学部では4 学年、看護学部では2 学年、リハビリテーション学部では3 学年まで授業科目があり、いずれの学部の学生であっても卒業する時点ではこれら必修科目を全て修得済みであることから、リテラシーレベルを有している者となる。

医学部	120/130
看護学部	103/105
リハビリテーション学部	113/114

なお、医学部にあつては、進級判定不合格の場合、合格していた科目であっても次年度

は合格保留となるため、それらの学生は未修得者扱いとする。

## (2) 学修成果

本学の学習支援システムである「KMULAS」において、事前に資料提供することで予習を、また、事後の復習テストを各回に設けることで復習をする環境を提供している。また、最終的に授業評価アンケートを実施することで、学生の理解度を把握し、授業改善に役立てている。

## (3) 授業評価

本学では、学習支援システム「KMULAS」を通じて学生による授業評価アンケートを実施し、難易度・満足度だけでなく、知識向上度や更なる意欲などについても確認している。教育プログラムを構成する授業科目の総合評価は次のとおりである。

学部名	科目名	難易度	総合評価
医学部	理工学からみた医療・医学 P1	3.54	3.90
	理工学からみた医療・医学 A1	3.16	3.80
	IT からみた医療・医学 A1	3.85	4.10
看護学部	情報活用論	2.78	3.09
	情報処理技術	2.63	2.71
リハビリテーション学部	情報処理技術	4.13	4.23
	統計学	3.93	3.90

## 3. 学外からの視点に関する評価

### (1) 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

現時点で当プログラム受講者が卒業まで至っていないことから、評価について受けてはいない。ただ、本学の卒業者のほとんどは医師、看護師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者として勤務することから、それぞれの現場において、学んだ知識・技能を発揮していくものと考えている。確認方法としては卒業生アンケート及び卒業生の勤務先アンケートを実施し、卒業生の状況把握につとめるものとする。

### (2) 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

本学は医療系大学であることから、多くの卒業生が医療従事者となる将来を見据えている。その将来像において数理・データサイエンスを学び続けることは必要不可欠であることを、授業を通じて学んでもらう場を提供している。

なお、医学部においては、昨今の数理・データサイエンス教育の重要性を鑑み、令和7年度に「メディカルデータサイエンス講座」を新設することが決定し、主任教授を選考した。令和7年度内に着任予定である。

#### **4. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること**

本学は医療系大学であることから、多くの卒業生が医療従事者となる将来を見据えている。その将来像において数理・データサイエンスを学び続けることは必要不可欠であることを、授業を通じて学んでもらう場を提供している。

#### **5. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること**

日々進化している情報に対して対応し、特に将来を見据えたデータや統計、機材を用いながらの授業が進められるようにする。

また、学生の授業評価アンケートによると、進捗が早く難しいとの意見が多くあることから、アンケート結果も鑑みつつ、プログラムを構築する必要がある。

以上